

2022年度 授業改善アンケート第1Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
ビジネス創造論	1 Q	阿部 裕樹	授業で使用するスライド資料をTeamsで共有することで、授業中に参照したり、復習に活用できていたようである。スライドの切り替えが早くてノートが取り切れないというコメントは見られなくなり、十分改善することができた。今後は授業前になるべく早くアップすることで、予習に十分な時間を確保できるように心掛けていきたい。
建築計画Ⅰ	1 Q	安藤 淳一	昨年度も内容が多すぎることで、展開が早いこと、時間配分の問題があることが再度ご指摘いただきました。それをもとに内容を吟味し、PPのページの展開スピードも少しづつ長くしました。それでもまだ問題があるとのことでしたので、次年度に向け、さらに吟味し修正して臨みたいと思います。
北国の建築と住まい	1 Q	安藤 淳一	多くご指摘いただいたことは、PPの文字が小さいこと、PPのページの展開が早くてメモが追いつけなかったことでした。昨年よりも内容をさらに吟味しPPを減らしましたが、まだまだ対応が良くないとのことでした。次年度に向けさらに修正し臨みたいと思います。
基礎英語Ⅰ（SDA-6）	1 Q	井坂 肇	授業の理解度が学生によってバラつきがあり、特に英語が苦手な生徒にとっては難しい講義となってしまった。板書の文字の薄さや構成に指摘が入っており、もっと見やすく分かりやすく記述するよう心掛けたい。講義のベースとしては問題なかったと思われるので、余裕のある学生がより良い学びを得られるように自習用の課題プリントを配布して練習問題を多く行い理解を促していきたい。英語が苦手な学生にも興味を持ってもらえるよう英語を題材とした映画やドラマ。アニメを授業で取り入れていきたい。
倫理学入門	1 Q	遠藤 均	これから訪れるであろう激動の時代に備え、講義終了後も講義内容を何度も読み返し、頼れない精神力と揺るぎない価値観力を身につけてください。
人間と哲学	1 Q	遠藤 均	夢や目標をもって、自発的に自分自身の人生を創造し、みずからの人生の主人公となって力強く生きて行ってほしい。そう心から願っています。そのためにも、講義プリントをくり返し読んでください。
基礎英語Ⅰ（SDA-3）	1 Q	横田 肇	学生からの評価を見ると、この科目で今まで一番好評の授業だったと思う。ただ、基礎力の必要な学生にとってはさらに理解しやすい方法を工夫する余地がありそう。また、フィードバックと確認はさらに強化したい。IIに向けて、課題の克服のための準備に力を入れたい。
基礎英語Ⅰ（SDA-4）	1 Q	岡島 徳昭	授業の理解度が学生によってバラつきがあり、特に英語が苦手な生徒にとっては難しい講義となってしまった。板書の文字の薄さや構成に指摘が入っており、もっと見やすく分かりやすく記述するよう心掛けたい。講義のベースとしては問題なかったと思われるので、余裕のある学生がより良い学びを得られるように自習用の課題プリントを配布して練習問題を多く行い理解を促していきたい。
国際経営論	1 Q	岡島 徳昭	まずは授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございます。授業を進める中で、もう少し質問の時間の確保や授業内容の確認等を丁寧に行うなどの工夫をしていきたいと思っています。
ドイツ語入門Ⅰ（M）	1 Q	河田 一郎	教員の熱意、授業の満足度について、高評価をいただき、たいへん嬉しく思っています。また、自由記述に「ドイツ語が少し話せるようになった」と複数報告がありましたが、継続が結果につながり、教える側としても励みになります。
ドイツ語入門Ⅰ（S・D・A）	1 Q	河田 一郎	自由記述から、学生さんたちが楽しんで授業に参加してくれた様子が窺えて、嬉しい限りです。今後もさらに楽しい授業を目指したいと思います。また授業中、学生の話声が気になるという指摘に関しては、第三者（教職員複数）に授業の様子をチェックしていただきました。個人差もあるかと思いますが、そのようなときは、遠慮なくご相談ください。できる限りの対応をしたいと思っています。
保育原理	1 Q	吉江 幸子	保育原理を受講してくれた学生の皆さん、お疲れ様でした。入学して初めての保育系授業で新鮮さもあったと思います。教科書や保育指針解説書を使いながらゆっくりと、周囲とも協力しながら進めることができました。アンケート評価も高評価をいただき、今後の励みとなります。びっしりと書かれた定期試験のペーパーを見た時に、皆さんが試験勉強に力を入れていたことが伝わりました。
日本の歴史	1 Q	及川 琢英	授業内容について、さらに見直して改善していきたい。
基礎英語Ⅰ（SDA-2）	1 Q	宮嶋 達也	自ら声に出して発するという実践的な英会話を中心にペアやグループワークでアクティブラーニングを意識して授業展開が行えた。
医学概論	1 Q	宮崎 剛司	全体的に4%（約2名）の否定的な講義結果に対して、きめ細かな配慮が足りなかったと反省している。同時に総合的にも「とても適切であった」との回答が平均で約50%であり、「満足できた」からさらに程度福祉が重なるように授業改善を、コメント、項目ごとから分析し、次年度に向けて準備、対策を講じていく。

保健医療サービス	1 Q	宮崎 剛司	全体的に2% (約1名) の否定的な講義結果に対して、きめ細かな配慮が足りなかったと反省している。同時に相対的にも「とても適切であった」との回答が平均で約50%以下であり自身の講義改善に向け、コメント、項目ごとに分析し次年度に向け準備、対策を講じる。
子どもの保健	1 Q	宮崎 剛司	全体的に8% (約1名) の否定的な講義結果に対して、きめ細かな配慮が足りなかったと反省している。同時に相対的にも「とても適切であった」との回答が平均で約55%であり、これらを踏まえ講義の改善を、コメント、項目ごとから分析し次年度に向け準備、対策を講じる。
ヘルメジメント論	1 Q	五ノ井 壽一	自らの経験・体験も参考に取り入れ、より理解力を高められるように相違・工夫・努力いたします。
教職論	1 Q	荒木 広式	毎回、課題を設定し、『構想(グループワーク)⇒情報収集(資料による説明)⇒思考⇒表現(当日課題レポート作成)』の過程を通して、課題に主体的に取り組む姿勢の醸成に重点的に取組みました。評価から、一定の成果が得られたと思います。今後とも、教育の最新情報や教育現場のエピソードを紹介するなど、さらに興味のある授業づくりに努めます。
発達心理学 I	1 Q	佐々木 智城	まずは授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。不十分であった点は今後の改善点とさせていただきます。
臨床心理学	1 Q	佐々木 智城	まずは授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。不十分であった点は今後の改善点とさせていただきます。
カウンセリング論 (M)	1 Q	佐々木 智城	まずは授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。不十分であった点は今後の改善点とさせていただきます。
カウンセリング論 (S)	1 Q	佐々木 智城	まずは授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。不十分であった点は今後の改善点とさせていただきます。
建築環境 I	1 Q	佐々木 哲之	授業の理解度を確認しながら授業展開をしていくことが大切な科目である。アンケート結果は概ね満足できる結果であった。しかし、設問3において「時間配分、授業の進め方」において「あまり適切でない」が6%おり、今後の課題である。
日本事情 (留学生)	1 Q	佐藤 恵利	アンケートのコメントには北広島市での生活や入国後すぐに気を付けなければいけないことを教えてほしいという声があり、コロナ禍で入国できずにいる学生の意見だと捉えました。日本事情も世界を取り巻く環境も日々変わっていきますので、臨機応変に、その時々にあった対応を考えて授業に臨みたいと思います。
建築法規 I	1 Q	佐藤 善太郎	1つのクォーターの最初から最後まで遠隔授業というのは初めてだったので、週2回の授業の進行に追いつくのが精いっぱい、聞く側にも迷惑をかけたと感じています。対面ではないので、授業の理解度を測りかねましたが、試験結果を見ると例年より理解度に大きくばらつきがあったように感じられます。今後はみんなの理解度により留意して、授業を行います。
スポーツとヘルスケア	1 Q	佐藤和・三嶋	今年度も、新型コロナウイルスの感染予防しながらの授業のため、コンディショニングのテーピング実技はソーシャルディスタンスの観点から今年も中止とし、その分視聴覚教材を取り入れ授業内容が理解できるように工夫をした。リモート授業が無かったため、今回はグループワークの授業を前回よりも多く取り入れ工夫をした。
障害児保育 I	1 Q	坂上 俊樹	10%の学生さんが、設問4(板書やパワーポイントの字や図)、設問5(配布資料、教科書)、設問6(学生の理解度)の回答に「あまり適切でなかった」と記述されています。授業を進める中で、もう少し質問の時間の確保や授業内容の確認等を丁寧に行うなどの工夫をしていきたいと思っています。
コミュニケーション論	1 Q	山本 一彦	理解に関して個人差があるのは止むなしとはいえ、「よく分かった」「難しかった」という両極への対応には今後も工夫を感じている。大人数授業であることもあって、勉強意欲を持つ大半の受講者にとってマイナスの影響をもたらす一部受講者への対応は今後の課題と認識している。
産業社会論	1 Q	山本 一彦	僅かな人数とはいえ、よく理解できなかったという受講者がいたことは今後のこの科目の授業展開にとって課題の一つとして認識したい。自由記述は少なかつたものの、その内容からして科目の目的は概ね達成されたと理解している。
トレーニング科学 I	1 Q	篠原 諒介	まずは授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。今回は「どのようにしたら学生がこの講義に興味を持ってもらえるか」をテーマに進めていきました。その結果、コメントで「かなり興味を持てた」や実際に講義終わりに質問に来てくれる学生がかなり増えました。しかし、理解度の部分で100%の理解度を得ることが出来なかったため、今後はその部分の改善を行っていきます。
施工管理技士演習 II	1 Q	小笠原 健	この講座は、二級建築施工管理技士資格の国家試験対策の講座です。きちんと出席している履修者においては、結果的に国家試験に合格しており、講義への出席率が低い履修者1名が不合格となりましたが、ほぼ履修者全員の合格を果たすことができました。合格者については、この資格を取得出来たことで、今後の就活および就職してからの人生において、大いに役立つものと思料します。

建築構造力学Ⅲ	1 Q	小笠原 健	この構造力学Ⅲの講座は、一級建築士の構造分野に出題される分野であり、二級建築士レベルを遥かに超えたハイレベルな分野になります。二級建築士レベルを想定している構造力学Ⅰ・Ⅱの単位を取得してきている前提で講義を進めています。しかしながら、そのレベルについて来れない学生が多く、試験ではテキスト持ち込み可としました。しかし、それでも高得点の学生は少数である現実があります。限られた講義数のなかで、過去に履修してきた構造力学Ⅰ・Ⅱの復習までしていかなければ、講義を進めることが難しかったため、一部の高成績の履修者には物足りなかったのかも知れませんが、履修者全体のことを考えて講義を実施せざるを得なく、ご理解を頂きたいところです。もう少し、履修者には予習と復習を徹底してもらいたいものと思料します。
音楽表現Ⅱ	1 Q	小黑 万里子	学生は熱心に授業に取り組んでいましたが、実技演習において各自の進度の違いから授業時間内でシラバス通りに終わらなかったことを反省しております。これからも保育の教育者としてできる限り力を発揮するよう初歩を中心に授業を進めていきたいと考えております。
福祉行財政と福祉計画 (M)	1 Q	小早川 俊哉	授業進行は可能な限りゆっくりを心掛けているが、厚労省のシラバスを満たす必要があることから限度がある。パワーポイントは授業終了後にアップロードしているので、授業中は画面の書き取りに専念せず、ポイントを理解することに専念してほしい。
福祉行財政と福祉計画 (S)	1 Q	小早川 俊哉	授業進行は可能な限りゆっくりを心掛けているが、厚労省のシラバスを満たす必要があることから限度がある。パワーポイントは授業終了後にアップロードしているので、授業中は画面の書き取りに専念せず、ポイントを理解することに専念してほしい。
社会福祉の原理と政策Ⅰ	1 Q	小早川 俊哉	大学の最初の授業ですので、ゆっくりと分かりやすくを心掛けていますが、分からない点があれば、いつでも質問に来てください。授業中のパワーポイントは授業終了後にアップロードするので、授業中はポイントを理解することに専念してください。
インテリアデザインⅠ (A)	1 Q	松岡 龍介	本科目は、1年次に学んだ製図関係科目の1年間の総括として、学生各自の自室をコンベックスで測り、インテリア/建築の図面を完成させることを目的としている。この課題の特徴は、自らが住んでいる部屋を計ることで、製図表現としての能力を向上させることのように思える。つまり、自らが見て、野帳にメモをして、平面図、断面図、室内展開図、天井伏図を描くことによって、インテリア空間を製図として再具現化することである。
社会学概論	1 Q	松下 守邦	履修学生の皆さんには意欲的に準備学習、課題に取り組んでもらいました。履修学生10人は、報告スキルには個性があり、授業終了まで熱心に参加されました。傾聴性の高い協調学習が展開できるよう学習設計をすすめてまいります。
地域福祉の理論と方法Ⅰ (M)	1 Q	上原 正希	経営と福祉の学生が授業を受けているので、福祉の学生には良いものの、経営の学生に対しては、より具体的に、また板書を含め、ペースは遅めの方が経営の学生には良いと理解しました。アンケートありがとうございました。
地域福祉の理論と方法Ⅰ (S)	1 Q	上原 正希	経営の学生と福祉の学生と同じ授業を受けていますが、福祉の学生の評価および結果は良好なものでした。しかし経営の学生にとっては授業のペース、板書等も早いようなので、どちらの学科問わず、気をつけていきたいと思料します。アンケートありがとうございました。
スクール・ソーシャル・ワーク論	1 Q	上原 正希	評価および結果は良好なものでした。しかし授業のペース、板書等も早いようなので気をつけていきたいと思料します。アンケートありがとうございました。
経営学総論	1 Q	信濃 吉彦	全体的にマイナス意見は2%以下だったので今後も分かりやすい授業を目指して頑張ります。
子ども家庭支援論	1 Q	杉本 大輔	全てが中途半端な評価。猛省します。
社会的養護Ⅰ	1 Q	杉本 大輔	全てが中途半端な評価。猛省します。
基礎英語Ⅰ (SDA-1)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「前期第一クォーターの授業の中で一番楽しく理解できた授業でした。理解していない人を取りこぼすことなく全員が同じ理解度になるよう工夫された授業で文法を理解してもらったための工夫が素晴らしかったです。」「質問しやすい環境で今までわからなかった英語の文章作りがいつの間にかできるようになってすごく良い授業だったと思料します!」「分かるまで教えて頂いたおかげで理解が深まった。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
教育原理 (M・D・A)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が97%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「主にグループワーク等主体的に学習してきた為授業内容が頭に入りやすく非常に分かりやすかった。」「教員に向けてとてもいい授業だった。」「自分で考える力が衰えていた気がするので自分で考えグループで発表するというのがとても良かったです。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。

教育原理 (S)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「題材に対して自分がどう考えるかという時間やグループワークにて他者の意見を聞きそれに対して批判的に評価するといった授業の取り組みが、人に伝えるために自分の意見をまとめる力と表現力や協働といったものが身につくと実感する講義だった。」「とても分かりやすい授業だった。また資料に沿って授業を進めていて理解しながら受講することが出来た。また前に出ての発表は、これから教員を目指す上でとても大切な事だから、自分なりに練習も兼ねて出来たのは良かったと思った。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
精神保健福祉の原理 II	1 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた67%、十分満足できた17%、満足できた17%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。また、配布資料も一定の成果があることも認識できました。今後もさらなる向上を図りたいと思います。
精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III	1 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた50%、十分満足できた44%、満足できた6%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。コメントよりは通常の座学ではなく、グループワークが中心となるため、困難さを感じていることが認識できました。今後も工夫をしながら、さらなる向上を図りたいと思います。
商法	1 Q	青山 浩之	第1クォーター木3講目 金2講目の科目で、履修者147名、平均出席率79%、回答率82%であった。対面授業と遠隔授業（未入国の留学生とコロナなど）を同時に実施し、遠隔授業では、パワポのスライドの画面共有で講義を進め、印刷用資料（PDF）を配信。設問10「全体満足」は好評価を受けました。自由記述では、「プリントがわかりやすかった」「毎回復習がありわかりやすかった」など評価をいただきました。一方で「難しい」との指摘や設問8「理解度」ではあまりできなかったが10%とあり、今後は理解を深め、興味を持てるように努力したい。
経営分析論	1 Q	石山 玄幸	経営分析論は、経営学の会計科目の中でも応用分野に位置しており、経営学科の専門科目の中でも難易度は高い部類に入ります。企業の財務諸表を活用して数値化することで計量的に把握することは、企業経営にとって重要な作業です。この手法を学ぶことで、今後、就職活動や就職後の自社分析に役立ててくれたら幸いです。
アグリビジネス論	1 Q	石山 玄幸	アグリビジネス論は農業の経営に関わる内容の講義となっています。そのため、講義は農業の基本的な内容が多かったと思われますが、農業は人類が生きていく上で必要不可欠な産業であり、IoTの普及で新たな可能性が見出されていることから、本講義の受講を機にアグリビジネスを就職先の一つとして検討してみたいかがでしょうか。
ビジネス英語	1 Q	石田 暁子	語学にしては人数の多いクラスになってしまったが、気になる私語もなく授業を終えることができた。公欠が3回となった野球部員も休んだ分の勉強をしており、文武両道だったことが嬉しい。しかし、満足のいく授業ではなかったと回答した学生が少数いたことが残念である。
デザイン概論 I (D)	1 Q	赤木 良子	提示資料について配布してほしいという要望がありましたので、今後は、PDFにて授業で使用した資料を配布いたします。リモート教室において、音声聞こえづらい、teamsでのトラブルについては、大変申し訳ありませんでした。
デザイン概論 (A)	1 Q	赤木 良子	リモート教室でのteamsトラブル、音声については申し訳ありませんでした。今後は聞こえやすい環境など考えてまいります。シラバスで書いていなかった評価については、授業形式の変更をお伝えしたときにお伝えするべきでした。こちらについては変更する場合には事前にお伝えするように致します。前半では、デザインの現状について概観し、後半ほとんどをデザイン史の時間としましたが、その中でさまざまなデザインの様相について触れたつもりですが、ただの歴史の授業というように受け止める人もいらっしゃるということなので、今後はより内容を精査していく所存です。
社会保障 I	1 Q	大倉 司	パワーポイント資料を使いながらの授業展開について概ね分かりやすいとの意見を多くいただきましたが、一方で教科書の参照箇所を見つけづらかったとの指摘もありました。今後工夫すべき課題と認識しました。
福祉サービスの組織と経営	1 Q	大島 康雄	実際に仕事をする際に役に立つ知識もあったと思います。これから社会に出たときに思い出してもらえると幸いです。
美術学概論 I	1 Q	竹内 美帆	本来はグループワーク等も行う予定でしたが、授業全体の人数とコロナ禍、ハイブリッド方式のため、実施できなかったのが実情です。イレギュラーな状況で、私としても試行錯誤をしながら授業を変えていった経緯から、途中で小テストを導入することにしました。それについて好意的な意見が多く、よい復習の機会となり理解度が上がったと感じられた学生さんが多かったのではないかと思います。ただ、留学生にとって日本語の面で理解しにくいことがあったところや、テストの範囲が確認しづらかった点などは、反省すべき点として、来年度の授業で改善していきたいです。

図学（建築図学を含む）	1 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。プロジェクターを利用しながらの作図課程の解説や完成課題を毎回Teamsに掲載したことなどは高評価でした。一方で後方席でのプロジェクターの見ずらさや、授業進行が速いと意見もありました。理解度の確認などをチャット機能を利用しながら配布資料やプロジェクター資料などを改善していきます。
測量学	1 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。演習計算の理解度が不十分との意見があり、配布資料及びプロジェクター資料の改善を行います。最終講義での水準測量機器の実習体験は、計算過程の理解度が深まるとの意見がありました。さらに理解度が増すように資料や実技体験などの充実を検討していきます。
文章表現演習（A）	1 Q	津田 昭彦	50名を超える受講者に、どのように添削解説をしていくか、正直、苦心しました。本来であればもっと細かく指導したかったというのが本音です。人数が多くなった時の「文章を書くという演習」の進め方をより工夫していきたいと思えます。
人文地理学Ⅰ（S）	1 Q	渡部 齋	これからも、タイムリーな時事問題を取り入れた講義になるよう、努力していきたいと思えます。
生涯学習概論Ⅰ（M）	1 Q	藤根 収	全体的に「適切だった」「理解できた」「満足できた」など比較的高い評価をいただきましたが、少数ながら改善が必要と思われる評価もありましたことから、今後とも学生の皆さんに理解と学ぶ楽しさを感じられる授業づくりに取り組んでまいりたいと思えます。
生涯学習概論Ⅰ（S・D・A）	1 Q	藤根 収	比較的高い評価をいただきました。授業に積極的に参加いただきありがとうございます。また、授業でのルールについては学生の皆さんが気持ちよく授業を受けていただくために確認したのですが、今後も徹底できるよう務めてまいりたいと思えます。
東洋・日本美術史Ⅰ	1 Q	菅名 真	縄文から現代までの長い日本美術史を辿る中であれもこれもと詰め込み過ぎた感があり、ついてくるのが大変だったことと思えます。時間切れで一部を次回に回した授業があったことを反省しています。私の方は、毎回冒頭に実施した作品に対する皆さんの個性的な感想を楽しませてもらい、また真面目な受講態度のおかげでとても気持ちよく授業をすることができました。最後までお付き合いいただきありがとうございました。
インテリアデザインⅠ	1 Q	梅田 真紀	授業毎に制作の進捗を確認してフィードバックをするスタイルは、今後も継続したいと思えます。授業の理解度を高めるため、技術的なフォローを改善していきます。
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	1 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。2,3年生合同の授業ということもあり、皆さんの集中力を保持する働きかけが不十分であった点は今後の改善点とさせていただきます。
障害者福祉	1 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。2,3年生合同の授業ということもあり、皆さんの集中力を保持する働きかけが不十分であった点は今後の改善点とさせていただきます。
マーケティング論	1 Q	伴 秀実	「マーケティング論」の講義内容については、全般的に良い評価を頂きました。個別の改善意見や要望にあった、マイクの音量、声の調子、パワーポイントの見やすさ等については、今後、更に改善を図っていききたいと思います。
ソーシャルワークの基盤と専門職（M）	1 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。好評だった前回の授業の振り返りや近所トークは、継続していきたいと思えます。引き続きわかりやすい授業を心がけていきます。
ソーシャルワークの基盤と専門職（S）	1 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。好評だった前回の授業の振り返りや近所トークは、継続していきたいと思えます。引き続きわかりやすい授業を心がけていきます。
体育史	1 Q	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございます。学生から調査物から、発表するまでの場面で時間を取りすぎたとのご意見を頂きましたので、今後の授業では調査物から発表するまでの状況を見ながら時間配分を決め授業を進めて行きたいと思えます。ご意見ありがとうございました。
スタートアップ演習（D）	1 Q	北嶋 洋一	個別指導が不完全であり、スタートアップ科目としては丁寧さに欠ける授業だったと反省している。一部の履修者に関しては、個別指導を受けること自体に抵抗を感じていて、積極的に出てこないが、そうした学生を引き上げる点に於いて甚だ劣った授業であった。全体への指導も一方的になり過ぎた点は大いに反省すべきと感じている。
CG技法研究Ⅰ	1 Q	北嶋 洋一	自学自習を主とする授業だったため、基本的に教室監督と課題のチェックが主となった。やる気のある学生が集まっていたので、特に進行に影響は見られなかったと思われる。
特別支援教育総論	1 Q	堀川 厚志	おおむね良い結果であることから、資料作成と提示の仕方、説明等の仕方について今後も維持する。時間配分等の授業の進め方について、「あまり適切ではなかった」との解答が1件あった。今後、一授業の説明する際に、時間をかける部分とそうでない部分のバランスに一層配慮していく

視覚障害教育総論	1 Q	木村 浩紀	授業の様子等を映像やスライド等を通して、できるだけ多く紹介するように心がけました。また、医学的・専門的な内容も多かったですが、多くの受講生の皆さんに理解していただき安心しました。今後は説明の仕方に工夫し、さらに興味が持てる講義になるようにして行きたいと思います。
原価計算論	1 Q	鈴木 重政	原価計算の基本的な内容の理解を深めた学生が多数で、良かったと思います。受講態度もまじめで、真摯に向き合っていた学生が大多数でした。
スポーツビジネス論	1 Q	鈴木 重政	3本のレポート執筆お疲れさまでした。充実した内容のレポートが提出され、学生諸君の理解が深まったことを確認することができました。
スポーツビジネス論 (SP)	1 Q	鈴木 重政	3本のレポート執筆お疲れさまでした。充実した内容のレポートが提出され、学生諸君の理解が深まったことを確認することができました。
器械運動	1 Q	廣田 修平	教員免許状取得を目指す学生向けの実技授業展開であったが、履修者は皆、真剣かつ積極的に授業へ参画していた。本授業を担当する私自身が、星槎道都大学では初めての授業であったため、用具配置状況や使用機材の面で、学生への協力を求めながらの実施となったが、学生の協力のおかげで円滑に授業を進めることができた。
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I	1 Q	櫻井 美帆子	1年生の時に学んだことが重複している部分もあったかと思いますが、それをベースにさらに理解を深めてもらえると幸いです。授業中の問いかけに対して積極的に反応してくれる学生が多く、とても授業がやりやすかったです。
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I (M)	1 Q	櫻井 美帆子	社会福祉学部の学生の習熟度に合わせて展開せざるをえない場面も多く、その点は申し訳ないと思います。
スポーツ原理	1 Q	高井 雅一	グループ学習を積極的に取り入れ、好評であった。講義は、教科書を使用せず、毎回プリントを用意し授業を進めていたが、質問項目の難度や説明不足のところがあつたようで、さらに改善しわかりやすい授業展開に努めていきたい。